

July 2009

Vol.30

# ウーラノス Oranos

今輝く

ビリヤードで日本一に  
経済学部3年 <sup>たしろ</sup>田代 <sup>りょうた</sup>亮太さん  
法学部3年 <sup>そん</sup>孫 <sup>しょうか</sup>少華さん

今年の3月に開催された「第9回全日本学校対抗ナインボール選手権大会」で見事優勝に輝いた田代さん(写真右)と孫さん(同左)。入学後、ビリヤードを通じて意気投合してからは、一緒に練習を積み重ねるようになり、各地のさまざまな大会で素晴らしい成績を残しています。「ビリヤードはメンタルなスポーツなので、好不調の波をお互いにカバーできたことが、最高の結果につながったと思います」と田代さん。「技術的な面だけでなく、人とのつながりがどんどん広がっていることも、ビリヤードを通じて得られた収穫の一つですね」と孫さん。「卒業後もビリヤードを続けたい」と声を揃える二人には、大学から学長特別表彰が授与されました。



東北学院大学  
TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY



## 常識のちがいをこえて

ここに1枚の地球の地図があります。これまで、時々、大学の授業の合間において学生諸君に見せてきたものです。この中で、日本はどこにあるでしょうか?よく見ると、地図の右上の方にあるのが分かります。しかし、我々が見慣れた日本の地図とは大きくちがっています。上下・左右が反対になっています。実は、これはスカンジナビア航空の機内誌のものです。前に、ウーラノス No.26(2007)に、「スウェーデンの運転免許証一国民番号など」として記しましたように、私は、1975年5月から14ヶ月間スウェーデン国のウプサラ大学に日瑞基金の派遣研究員として滞在して以来、たびたび北欧を訪問していましたので、このようなものに触れていました。何回見ても、日本人である私には違和感があります。北欧の人々(多分ヨーロッパの多くの人々も)の感覚あるいは常識のちがいを感しました。私たちは、このグローバル化した地球の一員として、従来以上に異なった常識をもつ人たちと付き合いこなっていることを認識して、賢く、無理なく、仲良く付き合いこななければなりません。このようなことを、この地図をきっかけとして、学生諸君に語りかけてき

ました。

本年(平成21年)4月から、東北学院大学経済学部では、経営学科を分離独立させて、経営学部とすると共に、経済学部に新しい「共生社会経済学科」を新設しました。この学科の名称にある「共生」は、21世紀における重要なキーワードの一つであると思います。大きなトレンドとして、人口の減少が続く中で、これまでの生活の質を落とさないで豊かな生きがいを感じることでできる社会を作り上げていくための知恵と知識を磨くことが大切でしょう。年齢のちがいを超えて、国籍のちがいを超えて、生活習慣のちがいを超えて、共に協力して生きていくための工夫が求められると思います。ここでは、なりたい自分をめざして、今日を知り、明日を考え、路を切り拓くことに努力します。ここでのキーワードは「共感力」です。

そして、これらの歩みの中でも、我々一人一人に神様から与えられている賜物・個性のちがいを尊重し、まさに、「常識のちがいをこえて」共生の社会を形成してゆきたいものと思います。新学科のこれからに期待しています。



学長  
星宮 望  
Nozomu HOSHIMIYA



「北欧の地図」スカンジナビア航空機内誌より





# 子供たちの 外国語活動をサポート



土樋キャンパスで開かれた第1回目の準備会。1年生の参加者も多く見られました。



## ～平成21年度 仙台市教育委員会との連携による小学校外国語ボランティア活動～

外国語によるコミュニケーションの楽しさや大切さを子供たちに伝えたい。そんな思いで平成15年から始まったのが、小学校外国語ボランティア活動です。これは仙台市教育委員会との「連携協力に関する覚書」に基づくもので、本学のボランティア学生を仙台市内の小学校に派遣し、子供たちの外国語活動をサポートしようというものです。

7年目を迎えた今年度は、英文学科や言語文化学科、共生社会経済学科から33名の学生が参加する予定で、現在その準備が進められています。学生たちは今年の秋からグループごとに仙台市内の小学校を3回にわたって訪問し、外国語活動を行います。また、最終回には本学で学ぶ留学生たちも小学校を訪れ、国際交流活動を行うことになっています。

昨年度も参加したという英文学科の4年生にお話を聞いたところ、「1年生のときから4年連続で参加しています。将来は教員をめざしていますが、教壇に立ちたいという思いはますます強くなりました」（小野さん）、「英語の教員志望です。子供たちが『わかった!』といって喜んでくれたときは、さすがに嬉しかったですね」（及川さん）、「子供たちはもちろん、先生方とも触れ合えるのは、かけがえのない財産になっています」（金さん）、「英語の教員になるのが夢。子供たちの心がつかめるような教材のアイデアを考えるのは、とても勉強になっています」（豊島さん）、「できるだけ絵をたくさん使っています。授業中、子供たちの反応が返ってくるのは大きな喜びですね」（玉坂さん）といった声が聞かれました。外国語を通じた心のつながりは、子供たちはもちろん、学生たちにとっても貴重な体験になっています。



昨年度も参加し、その経験を語ってくれた英文学科4年生の皆さん。

# 数

東北学院大学  
字で見る



東北を中心に、全国に広がる卒業生のネットワークは、本学のかけがえのない財産です。

東北学院の卒業生は、157,179人（平成21年4月1日現在）。その多くは、経済・産業界や行政、教育など、あらゆる分野で中心的な役割を担っています。東北をはじめとする名だたる企業にOBやOGがいるというのは、在学中の研究や就職活動、卒業後の仕事でのつながりなど、さまざまな面で大きなプラスになるはず。5月15日（金）には「東北学院創立123周年記念式」が挙行政され、世代を超えた多くの卒業生が母校に集まりました。限りない未来に向かって、信頼のネットワークはますます広がっています。



## 01 学院大の魅力を体感！夏まるごとオープンキャンパス

夏といえば、オープンキャンパスのシーズンです。「夏まるごとオープンキャンパス」と題した全学オープンキャンパスが、8月1日(土)は泉キャンパス、8月1日(土)・2日(日)は多賀城キャンパスを会場として盛大に開催されました。

学科ガイダンスや入試説明、個別相談、模擬授業、先輩懇談、キャンパスツアーなど、今年も内容は充実。自分の希望する学科の模擬授業を体験したり、先輩たちの話を興味深く聞いたりしながら、多くの高校生たちが本学の魅力を体感しました。キャンパス内で何人かの高校生に声をかけてみたところ、「学院大のことがますます好きになった」「希望する学科の特徴がつかめた」「模擬授業がおもしろかった」「先輩たちの話が聞けてよかった」などといった感想が聞かれました。

他県からの参加者や、保護者の姿も目立った全学オープンキャンパス。初めて本学のキャンパスを訪れたという参加者は、明るくのびのびとした雰囲気に包まれながら、施設や設備の充実ぶりにも目を輝かせていました。また、泉キャンパスでは、スペシャルイベントとして本学卒業の歌手・門馬綾子さんによるトーク&ライブも開催されました。



### 初夏さわやかオープンキャンパスも大好評!



6月27日(土)には土樋キャンパス(文学部・経済学部・経営学部・法学部)と多賀城キャンパス(工学部)、7月4日(土)には泉キャンパス(教養学部)をそれぞれ会場として、各学部ごとに「初夏さわやかオープンキャンパス」が開催されました。どの会場も各地から集まった高校生たちの熱気でムムム。各学部の雰囲気を味わいながら、ひと足早めに“学院大生気分”を体感していました。

### 10月は大学祭と同時開催!

- ◆多賀城キャンパス
  - ◆日時 10月10日(土) 11:00~14:00
  - ◆学部 工学部
- ◆泉キャンパス
  - ◆日時 10月11日(日) 12:00~16:00
  - ◆学部 教養学部

### 秋田・青森・八戸の3会場で開催!東北学院大学フェア

地元にいながら学院大のことがよくわかる「東北学院大学フェア」。今年は6月12日(金)の秋田市(アルヴェ「秋田市民交流プラザ」)、18日(木)の青森市(ラビナ「青森駅ビル」)、19日(金)の八戸市(ユートリー「八戸地域地場産業振興センター」)という3つの会場で開催されました。各会場には学部紹介コーナーをはじめ、入試相談コーナーや就職相談コーナー、先輩懇談コーナーなどが設けられ、地元の高中生たちが真剣な表情で説明を聞いていました。





## 02 卒業生をパネリストに、 経営学部新設記念シンポジウムを開催

5月15日(金)、土樋キャンパスで経営学部新設の記念シンポジウムが開催されました。シンポジウムには、各界の経営者として活躍している本学商学科の卒業生がパネリストとして参加。「私のライフストーリーとビジネスへの思い」と「地域社会における大学の役割と学院生へのメッセージ」をテーマに、自らの体験談を披露しながら、学生たちに熱いエールを送りました。

また、学部新設記念グッズの公募で、学生たちがアイデアを考案し、見事優勝に輝いた「エコバッグ」も紹介されました。



守谷 定夫氏(株式会社モリヤ 代表取締役社長)、竹本 恵子氏(有限会社竹本屋 代表取締役)、萩生 恵治郎氏(大成印刷株式会社 代表取締役)、松橋 隆広氏(ヒューレックス株式会社 代表取締役社長)の4名がパネリストとして参加。

## 03 音楽への招待「時代の音」 レクチャーコンサート・シリーズが始まる

第一線で活躍している演奏家を招き、音楽とレクチャーによる楽しいひとときをお届けする「時代の音」レクチャーコンサート・シリーズ。その第1回公演が、6月20日(土)に泉キャンパスで開催されました。講師・演奏を務めたのは、昨年度の教養学部20周年記念行事でも素晴らしい演奏とトークを披露してくださったチェロ奏者・指揮者の鈴木秀美氏です。会場となった礼拝堂には、地域の皆さんが多数来場。独創的なチェロの演奏や、「時代の音」の実像に迫る鈴木氏のトークに熱心に聞き入っていました。

「時代の音」レクチャーコンサート・シリーズは、第2回公演(12/12、泉キャンパス)と第3回公演(2/12、土樋キャンパス)も鈴木氏をキーパーソンとして開催されます。



## 04 今年は本学が勝利！ 青山学院大学との総合定期戦

6月6日(土)から8日(月)までの3日間を中心に、青山学院大学との総合定期戦が開催されました。第60回を迎えた今回の定期戦は、本学の泉キャンパスや土樋キャンパスなどが会場。恒例となっている対面式・パレードは、あいにくの雨のため中止になってしまいましたが、各競技ごとに熱戦が繰り広げられ、今回は23対11で本学に軍配が上がりました。これで通算成績は本学の22勝38敗となりました。来年は青山学院大学で開催されます。



## 05 本学の55連勝！ 北海学園大学との総合定期戦

6月19日(金)から21日(日)までの3日間、北海学園大学との総合定期戦が開催されました。第55回を迎える今回は、北海学園大学を会場に熱戦が繰り広げられ、見事本学が14勝4敗で総合優勝し、昭和30年の第1回大会から続いている連勝記録を“55”に伸ばしました。戦績に関係なく、今年もスポーツを通じて確かな友情と心からの交流が育まれました。来年は本学で開催されることになっています。



## 06 多くの保護者が出席 後援会総会・大学開放プログラム

5月16日(土)、泉キャンパスを会場に平成21年度の後援会総会・大学開放プログラムが開催されました。礼拝堂で行われた後援会総会には、各地から集まった多数の保護者が出席。平成20年度の報告に続いて、平成21年度の事業計画や収支予算が承認されました。

また、大学開放プログラムでは、本学教員による公開講座や、学生の就職を考えるセミナー、学科別懇談会、パイプオルガンコンサートなどが行われました。大学生活や成績、就職活動など、保護者の悩みや相談に応える個別面談や、多賀城キャンパスの見学会なども希望者を対象に行われました。



## 07 多賀城市「まちづくり懇談会」に協力

多賀城市の将来設計(総合計画)をつくるため、多くの市民の声を聞き、みんなの思いを形にしていこうという「まちづくり懇談会」の第1回会議が、3月14日(土)に多賀城市の市民活動サポートセンターで開催されました。多賀城市との連携協力を進める本学では、この懇談会に全面的に協力。教養学部の柳井雅也を中心に、岩動志乃夫、宮城豊彦、水谷修、増子正、経営学部の和田正春という6名の教員が、会の要ともいべき進行役を務めています。

第1回日のこの日は、多賀城市の菊地健次郎市長の挨拶のあと、教員の紹介や、今後の懇談会の進め方の説明、多賀城市の現状を知るためのクイズなどがありました。その後、「教育」「環境」「安全」「健康」「活気」という5つのテーマに基づいた分科会に分かれて、市民の皆さんによる懇談会が行われました。この懇談会は、来年の4月まで10回にわたり開催される予定です。



## 08 就職部・後援会共催の 企業研究セミナー

就職部・後援会共催の企業研究セミナーが、仙台サンプラザホールを会場に、2月4日(水)・5日(木)の2日間にわたって開催されました。全国的に有名な上場企業や、地元の有効企業など、約260社の企業が参加。リクルートスーツに身を包んだ学生たちは、それぞれが希望する企業のブースやセミナールームに分かれて、各担当者の説明に聞き入っていました。



## 09 東北地区 私立大学就職セミナー

平成21年度の東北地区私立大学就職セミナーが、6月22日(月)に仙台サンプラザホールを会場として開催されました。

企業と学生の就職面談会では、熱気に包まれたホールに90社余りがブースを設置。本学をはじめとする東北地区の各大学から集まった学生たちが真剣な面持ちで説明を聞いていました。会場には「就活なんでも相談コーナー」や「模擬面接相談コーナー」なども設けられ、学生が個別に相談する姿が見られました。また、面談会終了後は企業と大学との情報交換会が行われました。





## 10 “生きた英語”を学ぶ 英会話集中訓練コース

国際化時代にふさわしい英会話力の養成を目的とした英会話集中訓練コースが、2月9日(月)～25日(水)、土樋キャンパスのAV教室などで行われました。ネイティブスピーカーの講師によって、毎日午前9時30分～午後2時30分まで集中的に行われたレッスンには、本学の学生のほか、広く一般の皆さんも参加。ディスカッションやグループワークなども交えながら、スピーキングを中心に“生きた英語”を用いたコミュニケーション能力に磨きをかけていました。



本学のオーディオ・ビジュアルセンターでは、こうした英会話集中訓練コースを春休みと夏休みの年2回にわたって開催しています。

## 11 県警の協力で、禁止薬物の怖さについての講演会を開催

大麻などの禁止薬物を所持し、大学生が摘発されるという事件が相次ぐ中、薬物の恐ろしさを知ってもらい、学生を汚染から守ることを目的に、県警の捜査官を講師にした特別講義が行われました。「大麻等の禁止薬物の怖さについて」と題した講演会は、本学が発案して県警に協力を要請したもので、1月8日(木)(土樋キャンパス)・15日(木)(泉キャンパス)に開催されました。

プロジェクターを使った1時間ほどの講演では、薬物乱用は健康被害を伴うことや、薬物取引が暴力団の資金源になっていることなどを強調し、決して薬物には近づかないように働きかけました。



## 12 平成21年度入学式

4月6日(月)、仙台市体育館を会場に平成21年度の入学式が挙行され、6学部と大学院の3,117名が学生生活のスタートを切りました。やさしい春の陽射しに包まれたこの日、晴れの入学式を迎えた新入生たちは、やや緊張した面持ちながらも、これから始まる新しい生活に夢を膨らませていました。



また、この日は入学式に続いて、後援会入会式と全学ガイダンスも行われました。

## 13 平成20年度卒業式

3月24日(火)の午前11時より、平成20年度の卒業式が挙行されました。好天に恵まれたこの日、会場となった仙台市体育館には、卒業生のほかに多くの保護者の皆さんが来場。友達同士や親子で記念撮影をする姿が、あちこちで見受けられました。平成20年度は、大学院と学部学生を合わせて2,842名が学び舎を巣立って行きました。



また、卒業式に引き続き、土樋キャンパスではグループごとに学位記・卒業証書が授与され、同キャンパスの礼拝堂では、卒業時学業成績優秀学生の特別表彰も行われました。

## 14 TG推薦 入学誓約式

2月12日(木)、土樋キャンパスで平成21年度のTG推薦入学誓約式が開催されました。東北学院高等学校・東北学院榴ヶ岡高等学校両校からの平成21年度の推薦入学者は合計で247名。新入生たちは皆一様に緊張した面持ちでしたが、新たにスタートする大学生活を思い描きながら、希望に胸を膨らませていました。また、誓約式の終了後には、各学部ごとのガイダンスも開かれました。



そばは第二の  
専門分野



石川文康先生

教養学部

「そばは自らはつながらないが、人と人をつなぐ」。私がそばに夢中になっている理由は、この言葉の中に凝縮されています。そばという一つの作品を創り出している作者との出会いはもちろん、一緒にそばを打ったり、そば談義に花を咲かせたりする仲間との出会いが、そこにはあります。

私にとって、そばは趣味というよりも第二の専門分野です。いわゆるそば打ちの前に、石臼を使った自前の製粉を手がけることで、楽しさは限りなく広がっています。そば打ちには心と体にもいいですし、新しいことが発見できるという点では、大学の研究にも通じるものがあります。

そばには作者のすべてが映し出されます。その日によって味わいが異なることも大きな魅力につながっています。さて、今日はどんな味と出会えるんだろう。感謝の気持ちを込めながら、至福の一枚をいただいております。

(担当科目／思想史)



石川先生の著書。カントに関するバイブル的な本のほか、そばに関する本や雑誌も。

古代遺跡に  
魅せられて



出村みや子先生

文学部

趣味と実益が一致しているともいったらいいのでしょうか、世界を舞台に古代遺跡の魅力を探っています。イタリアやギリシャ、ハンガリーなど、さまざまな国へ出かけ、古代遺跡を通じて多くの人たちと出会えることは大きな喜びにつながっています。

去年の11月には、古代のロマンが息づくエジプトのアレクサンドリアへ。何十キロも続く砂漠地帯のまん中に忽然と現れ、今なお発掘が進められているアブ・ミーナ遺跡を訪ねたときは、文献からではわからなかった、かけがえのない宝物を見つけたような気持ちになりました。

今年の9月10～12日には、アジア環太平洋初期キリスト教会の研究集会が本学で開催されます。古代遺跡にまつわる公開講演なども行われますので、学生はもちろん、一般の方もぜひお気軽にご参加ください。

(担当科目／キリスト教史)

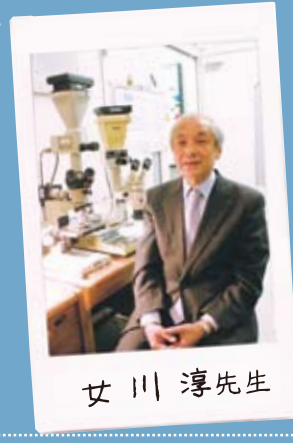


アレクサンドリアの聖マルコ教会。



世界遺産にも登録されているアレクサンドリアのアブ・ミーナ遺跡にて(写真中央が出村先生)。

日常の風景を撮る



井川 淳先生

工学部

小学3年のときに父親が買ったカメラをよくいじっていました。やがて自分のカメラを買ってからは、すっかり写真のとりこに。高校に入ると、専用の機材を揃えて、現像の焼き付けや引き伸ばしを自分でするほど懲り始めました。

大学入学後は、当時お昼代としてもらっていた100円で、30円のかげそばや45円の天ぷらそばを食べて、その差額はへそくりし、お気に入りのカメラを買いました。その後も12台ほど買いましたが、大学時代に買ったカメラが一番使い勝手がよく、今もメインで愛用しています。

撮影の対象としては、自宅から見える街並みや広瀬川の四季など、身近な風景が多いかな。ふだんの研究では電子顕微鏡を使用し、必ずといっていいほど写真が必要になるので、自分の趣味に通じるところもあります。写真の魅力は“創る”こと。今度はぜひ自宅の庭を1年間撮り続けてみたいですね。

(担当科目／物理学基礎演習)



愛用しているカメラの一部。まん中手前の機種が一番のお気に入りだそう。



一つのテーマに対して、学生や教職員たちはどう思っているのか、キャンパス内の声を集めたこのコーナー。今回は多賀城キャンパスで、学院大のどんなところが好きかを聞いてみました。

先生との距離が近く、まるで友達のような関係になれるところです。

**大学院生・相良さん**

学院大なら仲間がたくさんつくれます。友達も先輩も大切な宝物。

**1年生・佐々木さん**

自由でのびのびとした雰囲気が好きです。サークルの先輩も気さくで最高。

**1年生・齋藤さん**

空き時間は友達との交流に。余裕を持って学べるところがいいですね。

**2年生・大場さん**

やさしい先生方が多くて、気さくに話せるところが好きですね。

**2年生・小野さん**



120余年の歴史はさすが。卒業生も多く、大学としての風格を感じます。

**1年生・栗原さん**

とてもフレンドリー。そんな学院大が大好きです。

**1年生・伊藤さん** **1年生・小比類巻さん** **1年生・三瓶さん**

サークルの充実ぶりは魅力的。どれにするか決まったら、ぜひ参加するつもりです。

**1年生・小幡さん**

学食は、安くて旨くてボリューム満点。イチオシは「ハンバーグランチ」。

**1年生・池田さん**

やっぱり就職に強いところですね。今度は自分たちの番なので頑張ります。

**3年・加藤さん**

目立たないところで、人のために力を発揮するのが、学院大のモットーです。

**鶴本先生**

皆様のご意見をお待ちしております。

編集室では「学院大のここが好き」というキーワードにちなみ、読者の皆様からのご意見や感想を募集中です。ご応募は、住所・氏名・連絡先をご記入のうえ、下記のメールアドレスまでお送りください。

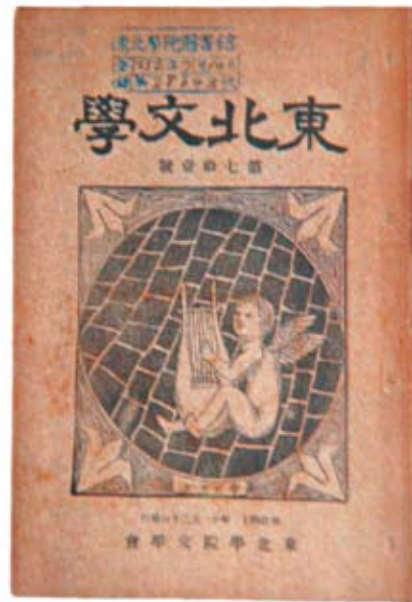
E-mail : uranos@t-gakuin.jp

## 文人画家？杉山元治郎

経済学部教授 いわもと 岩本 よしてる 由輝



『東北文学』第72号の表紙



『東北文学』第71号の表紙  
カインアンとあるのは、杉山のペンネーム

杉山元治郎さんを文人画家と呼んだら、杉山さんは照れることでしょうか。しかし、本心では喜んでくれると思っています。杉山さんは小さいときから絵が上手であったようです。大阪府立農学校時代の「養鶏論」の受講ノートに書いてある“にわとり”の絵など、なかなかのものです。東北学院に入学してからも、仙台でほおずき鬼灯画会というグループに属して絵心を発揮しています。そうしたなかで、アルバイトに絵葉書を描き、絵葉書屋に持ちこんで小遣金を稼いだりもしていることが日記にも書いてあります。

神学部3年の1908年11月に東北学院文学会から刊行された『東北文学』第71号の表紙（写真右）の原画は、杉山さんが描いたものです。このことはカインアンという署名があることからはっきりしていますし、日記にもそのことが記されています。カインアンは、すなわち海南という杉山

さんの号です。また、1909年2月刊行の『東北文学』第72号（写真左）の表紙を飾っているのも杉山さんの作品です。

どちらもギリシャ神話に題材を得たような作品ですが、第72号の方の人物が握っている刀はどう見ても日本刀というのも面白く思われました。

この2つの表紙を本学教養学部教授で、美術史を担当しておられる森美智子先生に見て頂きましたところ、19世紀末のヨーロッパで台頭した浪漫派の世紀末芸術、象徴主義を髣髴させるものがあり、日本では青木繁の影響を受けているように感じられるというお話でした。青木には、日本神話に題材をとった作品がいくつかあるようですが、ヨーロッパの世紀末芸術でも、神話や歴史に題材を求める傾向が強かったようです。ちなみに『東北文学』第72号の表紙の絵の刀は、どうみても日本刀とい

品「日本武尊」に描かれている刀と同じような感じがします。杉山さんは、『東北文学』のこの前後の号に、いくつかのカットの図案も提供していますが、それらも、当時としては、きわめて斬新に感じられるものでしたというのが森先生の御評価でした。

杉山さんの画才は竹内孤梅（本名豊秋）という日本画家にも認められていたようで、竹内さんの依頼で大阪の十合呉服店（後のそごうデパート）の装飾のバックの下絵や背景画を描いています。竹内は杉山さんが日本基督教会大阪南教会（現日本基督教団大阪南吹田教会）において受洗するにいたる手引きをしてくれた人です。杉山さんの作品のいくつかをパネル化したものは東北学院資料室に展示（所蔵）されていますので、是非、御覧になってください。





## TGUインフォメーション Information

### 工学部祭・泉キャンパス祭・六軒丁祭

10月10日(土)～11日(日) '09東北学院大学 工学部祭

場所 多賀城キャンパス

10月11日(日)～12日(月) '09東北学院大学 大学祭 泉キャンパス祭

場所 泉キャンパス

10月16日(金)～18日(日) '09東北学院大学 大学祭 六軒丁祭

場所 土樋キャンパス

10月は大学祭のシーズン。さまざまな展示や個性的なステージなど、文化系のサークルが中心になり、日頃の活動の成果を発表します。

お問い合わせ先/各大学祭実行委員会

### ホームカミングデー・第10回同窓祭

10月17日(土) 場所 土樋キャンパス

同窓生の懐かしい笑顔に囲まれながら、記念礼拝や記念式、特別講義、パイプオルガンコンサートなどが行われます。

お問い合わせ先/庶務部校友課 TEL.022-264-6468

### 第21回泉キャンパスクリスマス

12月4日(金) 場所 泉キャンパス 礼拝堂

パイプオルガンの演奏や聖歌隊の合唱、キャンドルサービスなど、クリスマスならではの楽しいひとときを過ごします。

お問い合わせ先/泉キャンパス庶務係 TEL.022-375-1121

### 第60回公開東北学院クリスマス

12月11日(金) 場所 土樋キャンパス・ラーハウザー記念礼拝堂

聖歌隊と室内アンサンブルによるオラトリオ「メサイヤ」の演奏、キャンドルサービスなど、厳かな雰囲気の中での公開クリスマスです。

お問い合わせ先/庶務部庶務課 TEL.022-264-6464

※詳しくは大学のホームページをご覧ください。

### 「学生安否確認システム」への登録のお願い

このシステムは、地震に限らず、大規模な災害が発生したときに、学生が自分の安否を保護者の皆様と大学にメールで通知できるものです。システムの利用にあたっては、メールアドレスの登録が必要ですので、また登録していない方は必ず登録をお願いします。



## キャンパスカレンダー

8 August

3 MON カナダ語学研修(～9/5[土])

4 TUE アメリカ研究アーサイナス大学夏期留学(～9/2[水])  
平澤大学校夏期留学(～8/28[金])

22 SAT 第32回 青山学院大学対東北学院大学二部交流定期戦  
主管:青山学院大学

24 MON 英会話集中訓練コース(～9/4[金])

29 SAT 第28回 北海学園大学対東北学院大学二部交流定期戦  
主管:東北学院大学

9 September

7 MON 日本研究秋期講座(～12/7[月])

10 THU 企業と学生の合同セミナー  
(仙台サンプラザ)

26 SAT 大学院前期課程特別選考入試

10 October

10 SAT ▶ 11 SUN '09東北学院大学工学部祭  
(多賀城キャンパス)

10 SAT 工学部オープンキャンパス  
(多賀城キャンパス)

11 SUN ▶ 12 MON '09東北学院大学 大学祭 泉キャンパス祭  
(泉キャンパス)

11 SUN 教養学部オープンキャンパス  
(泉キャンパス)

16 FRI ▶ 18 SUN '09東北学院大学 大学祭 六軒丁祭  
(土樋キャンパス)

17 SAT ホームカミングデー・第10回同窓会  
(土樋キャンパス)

22 THU 第3回就職支援講演会及び日経常識テスト  
(全学部全学年対象)

26 MON ▶ 27 TUE ▶ 28 WED ▶ 30 FRI  
就職支援先輩体験談  
(全学部全学年対象)

11 November

12 THU 推薦入学試験  
社会人特別入学試験A

12 December

4 FRI 泉キャンパスクリスマス

9 WED ▶ 10 THU 大学クリスマス

11 FRI 公開東北学院クリスマス

12 SAT 「時代の音」  
レクチャーコンサート・シリーズ第2回公演  
(土樋キャンパス)

1 January

16 SAT ▶ 17 SUN 大学入試センター試験

◎詳しい入試日程については、大学のホームページをご覧ください。

■土樋キャンパス  
 大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科  
 法学研究科、法務研究科  
 学 部：文学部・経済学部・経営学部・法学部（各3・4年）  
 夜間主コース  
 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
 TEL.022-264-6411 FAX.022-264-3030

■多賀城キャンパス  
 大学院：工学研究科  
 学 部：工学部  
 〒985-8537 宮城県多賀城市中央一丁目13番1号  
 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

■泉キャンパス  
 大学院：人間情報学研究科  
 学 部：文学部・経済学部・経営学部・法学部（各1・2年）  
 教養学部  
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号  
 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

東北学院中学校・東北学院高等学校  
 〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1  
 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校  
 〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号  
 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園  
 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎三丁目7番7号  
 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655



「ΟΥΡΑΝΟΣ(ウーラノス)」は「天」を意味するギリシャ語です。使徒パウロは、キリストの来臨を「主イエスが力強い天使たちを率いて天から来られるとき」(テサロニケの信徒への手紙二 1章7節)と描写しています。この個所にも οὐρανός の語が用いられています。

ウーラノス  
 東北学院大学  
 広報誌 vol.30

広報誌編集委員会

- |      |           |        |
|------|-----------|--------|
| 委員長  | 総務担当副学長   | 柴田 良孝  |
| 副委員長 | 総務部長      | 日野 哲   |
| 委員   | 宗教部長      | 佐々木 哲夫 |
|      | 文学部教授     | 楠 義彦   |
|      | 経済学部准教授   | 白鳥 圭志  |
|      | 経営学部教授    | 佐藤 邦廣  |
|      | 法学部教授     | 伊藤 一義  |
|      | 工学部教授     | 石川 雅美  |
|      | 教養学部准教授   | 山崎 冬太  |
|      | 総務部総務課長   | 門脇 邦知  |
|      | 総務部総務課長補佐 | 齋藤 信二  |
|      | 総務部総務課    | 藁科 明宏  |

東北学院大学広報誌「ΟΥΡΑΝΟΣ(ウーラノス)」に関するご意見・ご質問をお待ちしております。

本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて

本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

発行日は、7月20日・1月20日です。

発行日 2009(平成21)年7月20日  
 編集 東北学院大学 広報誌編集委員会  
 発行 東北学院大学  
 〒980-8511  
 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
 TEL.022-264-6412 FAX.022-264-3030  
 URL <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>  
 E-mail [uranos@staff.tohoku-gakuin.ac.jp](mailto:uranos@staff.tohoku-gakuin.ac.jp)

我ら 卒業生

大志を持ち続けること



登り窯では、焼き物の世界に進んだお子さんとともに一週間、火と格闘し続けるそうです。

高校の頃から野球が好きで、できれば東京の大学でプレーしたいという夢もありましたが、「東北にも野球を通じて人を育ててくれる大学がある」という高校時代の野球部の監督の薦めがきっかけで、東北学院大学に入学しました。

当時の自分にとって、大学の野球部はまさに大人のクラブという感じでした。毎日多賀城のグラウンドまで通ったことは、忘れることができない思い出の一つです。1年生のときが下宿で、2年生になってからはアパート暮らしを始めたのですが、さすがに自炊では苦労しましたね。卒業後は社会人野球をめざすか、家業の窯元(大堀相馬焼 陶吉郎窯)を継ぐかで迷いましたが、結局、家業を継ぐことに。幼い頃から陶器づくりがいかにおもしろいのかをのりこに感じてきただけに、自分としては大きな覚悟がいりました。

陶器づくりは、すべてが手作業。

とりわけ窯焼きでは、自然条件と自分の経験しか頼れるものがないので、どんな仕上がりになるか最後の最後までわかりません。私の座右の銘は「大志」。常に高い目標を掲げていれば、おのずから努力するようになり、きっといい作品も生まれると思っています。思いがけなく素晴らしい作品ができたことはありません。満足せずにいつも前を向いていたいというのが私の正直な気持ちです。

大学時代の野球部には9人の同期生がいました。たとえどんな役職に就いていても、昔のままの仲間であられるのは嬉しい限りです。私自身、今は仕事一筋ですが、卒業後は出身高校の野球部の監督を務めていたこともありました。教育にはその人を取り巻く環境が大切なので、大学にはさまざまな目的に対応できるような教育環境づくりをお願いしたいですね。

大堀相馬焼 陶吉郎窯  
 陶芸家 近藤 学さん

1977(昭和52)年経済学部経済学科卒業。卒業後は家業の大堀相馬焼窯元陶吉郎窯に従事。日展や日本現代工芸美術展などでは輝かしい実績を残している。地元電力会社や教育施設に施した陶壁の制作も。(社)日展会友、(社)現代工芸美術家協会本会員、日本現代工芸美術展審査員ほか。



大堀相馬焼 陶吉郎窯  
<http://www.toukichirougama.com/>



編集後記

新型インフルエンザの全国的な流行で始まった2009年度も、例年通り夏休みを迎えました。情報が世界的な規模で伝わる現代社会でこそ、伝統に問いながら、新たなニーズに対応していくことが必要でしょう。今年度も、経営学部と経済学部共生社会経済学科の新設、「学生安否確認システム」と「緊急地震速報システム」の導入など、期待された社会的責任を果たすべく、東北学院大学は全力で走り続けたいと思います。